

県西教育事務所だより

「学校に元気を 先生方に自信と勇気とやる気を 子どもたちに夢と生きる力を」 令和4年9月2日発行(第4号)

令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果を授業改善につなげてください —「報告書」の効果的な活用を通して—

今年度実施された「全国学力・学習状況調査」に係る資料として、茨城県教育委員会が、「令和4年度全国学力・学習状況調査県独自の採点分析結果報告書」を発売しました。また、国立教育政策研究所より、「令和4年度全国学力・学習状況調査報告書・調査結果資料」が、ウェブサイトにて公開されました。これらの報告書を活用し、ぜひ、全職員で研修の視点について共通理解を図り、授業の中で具現化してください。(国研の資料については、こちらのQRコードを御活用ください)



研修の視点

- 自校の児童生徒は、どこにつまずいているのか? (「解答類型」を活用した分析)
- これまでの指導における課題は、どのような点にあるのか? (自身の指導及び授業づくりの分析)
- 児童生徒の教育指導の充実や学習状況の改善のためには、何をすべきか? (「質問紙調査」を活用した分析)
- 今後、どのような点に重点を置いて授業改善を図っていったらよいのか?
(自校の「学力向上ロードマップ」を活用した見直し、国研の「授業アイデア例」の活用)

国語、算数・数学、理科の教科において、「可視化、焦点化、言語化」の視点を踏まえた「授業アイデア例」の一部を紹介します。(詳細は上記のQRコードから)

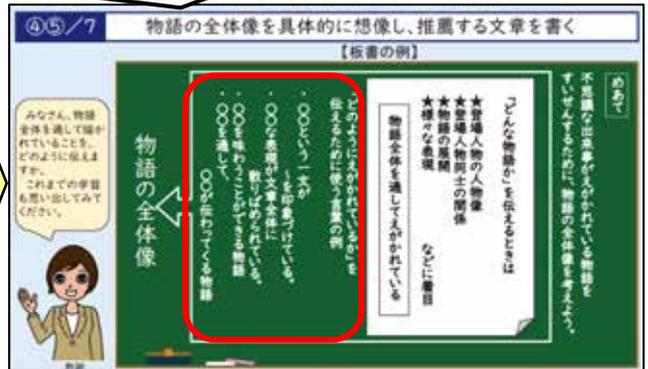
板書で「使う言葉の例」を可視化 (ICTで提示することも可)

国語

小学校 大問2「銀色の幻想」より
〈読むこと〉における可視化、焦点化の視点

- ・ 物語の全体像を想像する場合、「どんな物語か」という内容面だけでなく、「どのように描かれているか」という表現面にも着目できるようにします。そのためには、推薦する文章をまとめる際に使う言葉などを具体的に考える活動などを取り入れると効果的です。

「着目する観点」を焦点化

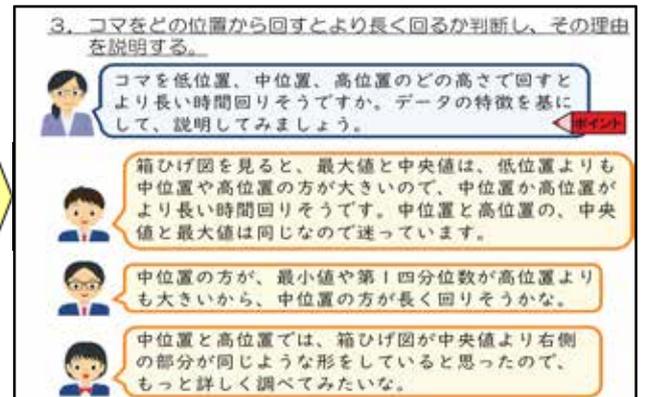


算数・数学

中学校 大問7「コマ回し」(データの活用)
〈思考・判断・表現〉における言語化

- ・ 収集したデータを整理して、それを基に分布の傾向を読み取り、批判的に考察し判断するとともに、その理由について説明し合う場面を設定します。その際、自分が判断した事柄とその根拠を、データの分布の特徴に基づき説明(記述)できるようにすることが大切です。

「○○であるから、△△である」のような形で、「根拠」と「成り立つ事柄」の両方を記述(言語化)できるようにする。



理科

中学校 大問3「化学変化と原子・分子」(粒子)
〈知識・技能〉における可視化、焦点化、言語化の視点

- ・ 事象を観察して、何が起きて、何が反応して、何ができたか(焦点化)を考えることが大切です。端末を活用して、粒子の保存性に着目して、原子や分子のモデルを操作する(可視化)ことで、化学反応式を試行錯誤して表すこと(言語化)も大切です。

ICTを活用して、化学変化を原子や分子のモデルを基に化学反応式で表す。



令和4年度英語プレゼンテーションフォーラム県西大会・県大会開催



令和4年度英語プレゼンテーションフォーラム県西地区大会を7月14日(木)に県西生涯学習センターにて行いました。今年度は、予選として郡市大会を行いました。本大会には郡市大会で選出された26校が参加し、昨年度以上に深まりのある発表ややり取りを行うことができました。また、8月30日(火)にはエポカルつくば国際会議場にて県大会が開催されました。今年度初めて行われた本大会でも、県西地区から出場した5校は練習の成果を発揮し、生き生きと発表することができました。各学校においても、本大会のような技能を統合した活動を授業に取り入れ、言語活動の充実を図っていきましょう。

県西大会【茨城県県西教育事務所所長賞】

古河市立三和中学校 結城市立結城東中学校
下妻市立東部中学校 常総市立水海道中学校
坂東市立岩井中学校

県大会

【茨城県議会議長賞】古河市立三和中学校
【茨城県教育研究会長賞】常総市立水海道中学校



県大会でのシェアリングタイムで質問を受けている様子(発表校:三和中)



県西大会での受賞校によるデモンストラーションの様子(発表校:岩井中)

コンプライアンス確保に向けて ～不祥事ゼロの学校改革～

各学校では、コンプライアンス確保に向けて、研修や管理職による複数回の面談等、さまざまな取組を進めていただいているところです。夏季休業前の時点での学校事故を振り返ると、年度当初、交通事故の多さが目立ちました。特に、その校勤務1年目の教職員の事故が多くみられました。道路や運転、新しい職場での勤務に慣れていないこと等が事故の要因になっていると考えられます。働き方改革を進め、心身共に健康な状態で子供たちに接することが、学校事故防止につながっていきます。

<1学期の学校訪問で紹介していただいた各校の参考となる取組>

- ※ 学校独自のヒヤリハット集の作成と活用
- ※ 職員一人一人の「コンプライアンス遵守宣言」の作成
- ※ 職員一人一人の毎月の「服務心得セルフチェックシート」の提出
- ※ 通帳の色別分類による管理
 - ・ 「コンプライアンスカード」を名札に入れて携帯・しおりにして携帯
 - ・ 職員一人一人の飲酒状況一覧の作成と管理

※ Webex「県西校長会」スペースで PDF 資料提供

令和4年度 第2回教職員の働き方改革アクション会議

7月13日(水)、筑西合同庁舎大会議室において、「令和4年度第2回教職員の働き方改革アクション会議」を開催しました。

<協議会で出された成果のある取組>

- ※ 下校時の見守り依頼(保護者・地域・民生委員等)
自治体からの呼びかけにより、保護者が積極的に関わっている市町もある。
- ※ 日課表の見直し(5時間授業日の設定、部活動開始時刻を早める)
- ※ 土・日曜日の合同練習から地域移行へ
 - ・ 作文審査等の退職校長会等への依頼
 - ・ 各種たより(学年だより、週報等)の廃止、保護者宛文書のデータ配信
 - ・ 市内統一での部活動終了時刻(平日2h、休日3h)
 - ・ 複数顧問制単独指導の実施(1人は指導、1人は事務処理)
 - ・ 「教職員の本務」について、管理職からの指導による教職員の意識改革
 - ・ 県部活動運営方針の遵守(大会前であっても例外をつくらない)
 - ・ 部活動数の適正化
 - ・ 部活動指導員の活用



※ Webex「県西校長会」スペースで PDF 資料提供

<参考資料>

7月27日(水)、28日(木)に、令和4年度小・中学校教育課程研究協議会を実施しました。その際に伝達した「各教科の重点事項」を同送しましたので、御活用ください。